



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

**10日**

ドル円はユーロ円の上昇につれて114.303円まで上げたが、米長期金利の低下に上値を抑えられた。

**11日**

ドル円には国内輸入企業からの買いが観測されたほか、5月11日高値の114.37円が目先の上値目処として意識される中で仕掛けの買いも強まり、114.495円と3月15日以来の高値を付けた。ただ、トランプ米大統領の長男ドナルド・トランプ・ジュニア氏が、ロシア人弁護士との面談をめぐるやりとりを示したメールを公開すると、ロシア政府による大統領選関与への疑惑が強まり売りが強まった。ブレイナードFRB理事のハト派的な発言も嫌気され113.72円まで急落した。

**12日**

ドル円は米系短期勢などからの売りが先行。イエレンFRB議長が証言原稿でハト派的な見解を示すと112.928円まで急速に値を下げた。

**13日**

ドル円は113.527円まで買いが先行したが、米長期金利が低下すると112.863円まで失速した。もっとも、「日銀は19-20日に開く金融政策決定会合で、2%物価目標達成時期について先送りを含め議論する」と報じられると買い戻される展開に。イエレンFRB議長が議会証言で「保有資産の縮小期、長期金利はいくらか上昇へ」と発言すると、米長期金利の上昇とともに113.471円まで切り返した。

**14日**

連休前の実質5・10日(ゴト一日)とあって、ドル円は仲値に絡んだ買いが強まり113.575円まで上げた。ただ、東京市場の3連休を控えて利食い売りに押し戻される展開に。6月米小売売上高と6月米CPIが予想を下回ったことがわかると112.27円まで急落した。

**総括**

先週のドル円は売りが優勢だった。週明け10日はユーロ円の上昇につれて114.303円まで買われたが上値は限られた。11日は本邦輸入勢の買いや5月11日高値の114.37円の上抜けを狙った買いが優位に。3月15日以来の高値となる114.495円まで上値を伸ばした。その後、トランプ米大統領の長男ドナルド・トランプ・ジュニア氏が、ロシア人弁護士との面談を仲介した人物とのメールを公開。民主党候補のクリントン氏に不利となる情報提供を持ちかけられていたことがわかると一転売りが加速した。ブレイナードFRB理事が「最近のインフレ軟化を踏まえて金利軌道を検証する」などと発言したことも売りを後押し。12日にはイエレンFRB議長が議会証言の準備原稿で「金利は中立水準に達するまで大きく上昇する必要ない」などの見解を示し、FRBが利上げを急がないとの見方が広がったことで113.00円を割り込んだ。13日も戻りは鈍く112.863円まで弱含んだが、イエレンFRB議長が議会証言で「保有資産の縮小期、長期金利はいくらか上昇へ」などと語り、米長期金利が上昇すると14日には113.575円まで反発した。もっとも、6月米小売売上高や6月米CPIがいずれも予想を下回ったことがわかると、一転売りが優勢となり112.27円まで急落した。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
12日	23:00	水	CAD	カナダ銀行 政策金利	*	*	0.50%		0.75%	0.75%
12日	23:00	水	USD	イエレンFRB議長、発言	*	*	*	*	*	*
13日	*	木	CNY	貿易収支(米ドル)	*	6月	408.1億ドル	407.9億ドル	426.0億ドル	427.7億ドル
13日	21:30	木	USD	卸売物価指数(PPI)	前月比	6月	0.0%		0.0%	0.1%
14日	21:30	金	USD	消費者物価指数(CPIコア)	前月比	6月	0.1%		0.2%	0.1%
14日	21:30	金	USD	小売売上高	前月比	6月	-0.3%	-0.1%	0.1%	-0.2%
14日	23:00	金	USD	ミシガン大学消費者態度指数	*	7月	95.1		95.0	93.1

一言コメント・・・米CPIや米小売売上高が予想を下回る結果となり、ドル売りが進みました。

## 先週の注目された要人発言

- 10日09:31 黒田東彦日銀総裁「2%物価目標の実現を目指し、必要な時まで緩和を継続」  
 11日12:50 ウィリアムズ米サンフランシスコ連銀総裁「今年バランスシートの正常化を始めることは理にかなっている」  
 12日01:31 ブレイナード米連邦準備理事会(FRB)理事「保有資産の縮小開始は早期に適切に」「最近のインフレ軟化を踏まえて金利軌道を検証する」「追加利上げ決定前にインフレを見極める意向」  
 12日15:06 ブロードベント・イングランド銀行(英中銀、BOE)副総裁「まだ利上げの準備はできていない」  
 12日21:32 イエレン米連邦準備理事会(FRB)議長(準備原稿で)「経済に対するインフレの反応が重要な不確実性」「向こう数年間、漸進的な追加利上げが必要」「インフレは目標を下回っている。直近は低下」「金利は中立水準に達するまで大きく上昇する必要はない」  
 13日00:37 ポロズ・カナダ銀行(中央銀行、BOC)総裁「過度な刺激策は明らかに必要ない」「間違いなく金利は徐々に高くなるだろう」  
 13日23:12 イエレン米連邦準備理事会(FRB)議長「バランスシート縮小で市場を動揺させたくない」「保有資産の縮小期、長期金利はいくらか上昇へ」  
 14日23:30 カプラン米ダラス連銀総裁「インフレはさらに進展すると確信」「追加利上げの前にインフレ進展の証拠見たい」「バランスシート縮小開始は9月が適切になる可能性」

一言コメント・・・ブレイナードFRB理事やイエレンFRB議長からハト派的な見解が伝わり、週央に一時ドル売りが強まる場面も見られました。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
18日	18:00	火	DEM	ZEW景況感調査(期待指数)	*	7月	18.6		18.0
19日	21:30	水	USD	住宅着工件数		年率換算件数 6月	109.2万件		116.0万件
20日	*	木	JPY	日銀、政策金利発表	*	*	-0.10%		-0.10%
20日	20:45	木	EUR	欧州中央銀行(ECB)政策金利	*	*	0.00%		0.00%
20日	21:30	木	USD	フィラデルフィア連銀製造業景気指数	*	7月	27.6		23.4
20日	23:00	木	USD	景気先行指標総合指数		前月比 6月	0.3%		0.4%
20日	*	木	ZAR	SARB政策金利	*	*	7.00%		7.00%

今週の注目は・・・日欧金融政策

# GIweekly今週のマーケットポイント [限定版]は

『ひまわりFX WEB』にログイン後の  
「マイページ」にてご覧いただけます。

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - エマージングウオッチ

情報提供元：グローバルインフォ

グローバルインフォ株式会社より提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、グローバルインフォ（株）は一切の責任を負いません。